

令和6年2月9日

関係機関の長 殿

徳島大学大学院医歯薬学研究部長  
赤池 雅史〔公印省略〕

歯学域口腔科学部門臨床歯学系 口腔外科学分野教授候補者の推薦について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学域口腔科学部門臨床歯学系（口腔外科学分野）の教授候補者の公募を行うこととなりました。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、関係機関にご周知方よろしくお願いいたしますとともに、適任者をご推薦賜りますよう併せてお願い申し上げます。

なお、候補者の方には、選考の過程において面談、手術見学等を実施させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おき願います。

敬具

## 記

### 1. 応募資格

- ① 歯科医師免許を有する者
- ② 博士の学位を有する者
- ③ 口腔外科学（口腔腫瘍、顎顔面外傷、顎変形症、嚢胞性疾患、炎症、歯科インプラント、顎骨再建）教育を円滑に指導できる者
- ④ 口腔外科学を基盤とし、生命科学から臨床歯学に寄与できる先進的な研究を推進できる者
- ⑤ 高度な歯科治療を実践でき、医科領域と連携し、今後の地域歯科医療の向上を推進できる者
- ⑥ 日本口腔外科学会の専門医（口腔外科専門医）を有する者
- ⑦ 徳島大学の関連分野と教育・研究・臨床面で連携するとともに、地域の関連機関と連携して歯科医療に関する学術並びに地域の健康・福祉と歯科医療の発展など、社会貢献を推進できる者
- ⑧ 口腔外科学分野において公正な管理運営を行い、歯学部・大学院・病院の将来構想に意欲的かつ柔軟に対応できる者

### 2. 提出書類

- |   |           |
|---|-----------|
| ① 履歴書（様式1）  | 1部        |
| ② 業績目録（様式2～8）   | 1部        |
| ③ 論文別刷（主要論文10編）   | 各6部（コピー可） |
| ④ 教育についての実績と抱負  | 1部        |
| ⑤ 研究内容の概要と今後の展望   | 1部        |
| ⑥ 臨床についての実績と展望・抱負                                       | 1部        |
| ⑦ 科学研究費補助金等の外部資金の受領状況（様式9）                              | 1部        |
| ⑧ 業績等総括票（様式10）  | 1部        |
| ⑨ 主要原著論文（10編）に関わる事項（様式11）                               | 各1部       |
| ⑩ 臨床実績報告書（様式自由、10症例；日本口腔外科学会の手術症例報告を参照）と過去5年間の症例数（様式12） |           |
| ⑪ 推薦状 ただし、自薦の場合は必要ありません                                 |           |
| ⑫ その他参考資料   |           |
- 歯科医師、専門医などの資格を証明するもの（免許証等のコピー）、特許、社会貢献、治験、教育FD参加の実績など。  
（注意）提出書類の作成は、別紙「書類作成上の注意事項」を参照のこと。

3. 応募締切日 令和6年4月19日（金曜日）必着
4. 講演 選考の過程で、講演（講演にかかる旅費は応募者負担）をしていただくことがあります。
5. 応募書類提出先及び問い合わせ先（公募についての詳細及び給与・勤務条件等）  
〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50-1 徳島大学総務部人事課蔵本人事係 宛  
(Tel 088-633-7018、Fax 088-633-7474、E-mail jnjin2c@tokushima-u.ac.jp)  
※応募書類を入れた封筒には「口腔外科学分野教授応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は書留で送付してください。なお、応募書類は、返却いたしませんのでご了承ください。
6. その他
  - ① 本公募文書（各様式を含む。）は、下記ホームページからダウンロードしてください。  
徳島大学ホームページ※採用情報参照 (<https://www.tokushima-u.ac.jp/>)  
研究者人材データベース (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)
  - ② 徳島大学大学院医歯薬学研究部の教員選考においては、国籍、性別およびハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公平な選考を行います。
  - ③ 徳島大学は様々な取組により男女共同参画を推進しており、教員公募においても女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
  - ④ 提供していただいた個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

## 書類作成上の注意事項

### 1. 履歴書（様式1）

- ①書式はA4版（縦）横書とする。（文字サイズは10.5又は12ポイント、別紙「作成例」参照）
- ②学歴欄は、大学卒業以降を全て記入して下さい。
- ③研究生等の履歴は、職歴欄に記入して下さい。
- ④職歴欄は、大学卒業又は大学院修了以降の履歴を空白期間の無いよう記入して下さい。
- ⑤職名、所属講座等は、別紙「作成例」に従って記入して下さい。
- ⑥重複期間のあるものについては、説明を付けて下さい。
- ⑦「賞罰」には、刑事罰のみではなく、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入して下さい。
- ⑧3か月以上の外国出張等（研修を含む）については、期間（年月日を記入すること）、出張（研修）先、身分等を「その他」の欄に記入して下さい。
- ⑨本学採用後に、重大な経歴詐称が判明した場合には、採用取消や懲戒解雇等の対象となるので、本履歴書は正確に記入して下さい。

### 2. 業績目録（A4版（縦）横書で、印字して下さい。）

業績目録は、著書（様式2）、総説（様式3）、原著（様式4）、症例報告等（様式5）、レター、プロシーディング等（様式6）、商業誌等での発表（様式7）、学会発表（様式8）に分類し、欧文、和文ごとにそれぞれ各様式に沿って年度の新しいものから順に記入して下さい。様式3～6では、JCR Science Edition 2022のインパクトファクターを記入して下さい。

#### ①著書（様式2）

単著、共著、分担執筆の別を記入して下さい。なお、翻訳は著書の項に原著書の著者名、書名、題名、発行所名、発行年月日を併記して記入して下さい。

#### ②総説（様式3）

共著の場合は、著者全員の氏名を論文記載の順に従って記入し、本人の氏名にアンダーラインを付して下さい。なお、現在印刷中のものについては、掲載許可証明書のコピーを添付して下さい。

#### ③原著（様式4）

共著の場合は、著者全員の氏名を論文記載の順に従って記入し、本人の氏名にアンダーラインを付して下さい。なお、現在印刷中のものについては、掲載許可証明書のコピーを添付して下さい。主要な原著論文10編の番号に○印を付して下さい

#### ④症例報告等（様式5）

共著の場合は、著者全員の氏名を論文記載の順に従って記入し、本人の氏名にアンダーラインを付して下さい。なお、現在印刷中のものについては、掲載許可証明書のコピーを添付して下さい。

#### ⑤レター、プロシーディング等（様式6）

共著の場合は、著者全員の氏名を論文記載の順に従って記入し、本人の氏名にアンダーラインを付して下さい。なお、現在印刷中のものについては、掲載許可証明書のコピーを添付して下さい。

#### ⑥商業誌等での発表（様式7）

共著の場合は、著者全員の氏名を論文記載の順に従って記入し、本人の氏名にアンダーラインを付して下さい。なお、現在印刷中のものについては、掲載許可証明書のコピーを添付して下さい。

#### ⑦学会発表（様式8）

特別講演、シンポジウム・ワークショップ（筆頭に限る、メインテーマを記載）、国際学会における発表および国内学会における一般講演（それぞれ最近の主要なもの10題以下）について記入して下さい。

### 3. 論文別刷

主要論文10編（業績目録に○を付したもの）について、別刷（コピー可）を各6部提出して下さい。

### 4. 教育についての実績と抱負

2,000字以内にまとめて下さい。（A4版（縦）横書で、印字して下さい）

5. 研究内容の概要と今後の展望  
2,000字以内にまとめて下さい。(A4版(縦)横書で、印字して下さい)
6. 臨床についての実績並びに展望・抱負  
2,000字以内にまとめて下さい。(A4版(縦)横書で、印字して下さい)
7. 科学研究費補助金等の外部資金の受領状況(様式9)(A4版(縦)横書で、印字して下さい)  
資金等の名称(文科省科学研究費補助金など)、補助金等の種別、受領年度(継続の場合は、初めの年度から終わりの年度まで)、研究課題名(研究分担者の場合は代表者の氏名)、代表・分担の別、受領金額(直接経費)を様式に沿って記入して下さい。受領年度の新しいものから記載して下さい。
8. 業績等総括票(様式10)(A4版(縦)横書で、印字して下さい)  
様式10で業績等を整理、集計して下さい。
9. 主要原著論文(10編)に関わる事項(様式11)(A4版(縦)横書で、印字して下さい)  
主要原著論文10編について、各1枚の用紙(様式11)に以下の事項を記載して下さい。  
主要原著論文番号:1~10  
(1)著者名(全員)、(2)論文題名、(3)掲載誌名、(4)論文の要約、特色および意義(400字以内)、(5)論文作成における応募者の具体的役割または担当事項(100字以内)
10. 臨床実績報告書  
これまでの代表的な口腔外科症例10症例を提示して下さい。症例の書式は自由ですが、画像情報等をつけて、臨床能力が評価できるようにして下さい。原則、各症例A4版(縦)1枚に、横書で印字してください。発表済みのものであれば、発表情報も明記してください。
11. 歯科医師免許、専門医、指導医資格を証明するもの
12. その他参考資料(社会貢献、治験、教育FD参加、特許出願の実績など)  
箇条書きの自由形式で、A4版(縦)横書で、印字して下さい。教育関係のワークショップ、FDの参加歴については開催日、場所、名称、参加資格を記入して下さい。

(様式1)

(作成例)

(西暦) 〇〇年〇〇月〇〇日

履 歴 書

- ふりがな  
1. 氏 名 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
〇 〇 〇 〇 ※氏名は自署、印字による場合は押印のこと。
2. 生年月日 (西暦) 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳)  
※記載日現在。以下、年は全て西暦で表記のこと。
3. 現 職 〇〇大学准教授〇〇学部 (〇〇講座)
4. 現 住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇 1-2-3  
(電話) ( ) -
5. 連 絡 先 メールアドレス 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇.ac.jp  
勤務先電話 ( ) -  
携帯電話 ( ) -
6. 学 歴 〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部卒業  
〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科修士課程修了  
〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程修了
7. 学 位 博士 (〇〇) (〇〇大学甲〇第〇〇〇号)
8. 資 格 歯科医籍登録 〇〇年〇〇月〇〇日 (第〇〇〇〇号)  
〇〇〇〇学会専門医 〇〇年〇〇月〇〇日 (第〇〇〇号)
9. 職 歴 〇〇年〇〇月 〇〇大学〇学部助手  
〇〇年〇〇月 〇〇大学講師〇〇学部 (〇〇講座)  
〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院准教授〇〇研究科 (〇〇分野)  
(現在に至る)
10. 所属学会 (学会役員) 日本〇〇学会 (評議員)、日本△△学会 (評議員)  
外国の学会 (原文表示)
11. 賞 罰 〇〇年〇〇月 日本〇〇学会奨励賞
12. そ の 他 〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日  
出張先の機関名、職名等を原文表示

(様式2)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(著 書)

氏 名

著書名（分担の場合は、全著者名、その題目と巻、始めと終わりの頁を併記）、編著者名、発行所名、発行年、欧文、和文に分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。

(様式3)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(総 説)

氏 名

全著者名、表題、雑誌名(巻、号、始めと終わりの頁、年)を記入し、JCR Science Edition 2022 のインパクトファクターを( )に数字で記入して下さい。なお、インパクトファクターのない雑誌は(ー)と記入して下さい。

欧文、和文に分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。また、本人がCorresponding author(責任著者)の場合には、氏名末尾に\*を付けて下さい。

(様式4)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(原 著)

氏 名

全著者名、表題、雑誌名（巻、号、始めと終わりの頁、年）を記入し、JCR Science Edition 2022 のインパクトファクターを（ ）に数字で記入して下さい。なお、インパクトファクターのない雑誌は（－）と記入して下さい。

欧文、和文に分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。また、本人がCorresponding author（責任著者）の場合には、氏名末尾に\*を付けて下さい。主要な原著論文10 編の番号に○印を付して下さい。



(様式5)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(症例報告)

氏 名

全著者名、表題、雑誌名(巻、号、始めと終わりの頁、年)を記入し、JCR Science Edition 2022 のインパクトファクターを( )に数字で記入して下さい。なお、インパクトファクターのない雑誌は(ー)と記入して下さい。

欧文、和文に分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。また、本人がCorresponding author(責任著者)の場合には、氏名末尾に\*を付けて下さい。

(様式6)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(レター、プロシーディング等)

氏 名

全著者名、表題、雑誌名(巻、号、始めと終わりの頁、年)を記入し、JCR Science Edition 2022 のインパクトファクターを( )に数字で記入して下さい。なお、インパクトファクターのない雑誌は(ー)と記入して下さい。

欧文、和文に分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。また、本人がCorresponding author(責任著者)の場合には、氏名末尾に\*を付けて下さい。

(様式7)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(商業誌等への発表)

氏 名

全著者名、表題、雑誌名(巻、号、始めと終わりの頁、年)を記入し、JCR Science Edition 2022 のインパクトファクターを( )に数字で記入して下さい。なお、インパクトファクターのない雑誌は(ー)と記入して下さい。

欧文、和文に分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。また、本人がCorresponding author(責任著者)の場合には、氏名末尾に\*を付けて下さい。

(様式8)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(学会発表)

氏名

全発表者名、演題、学会名(発表年月、開催地)

特別講演、シンポジウム・ワークショップ(筆頭に限る、メインテーマを記載)、国際学会および国内学会における一般講演(それぞれ最近の主要なもの10題以下)について、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。発行年度の新しいものから記載して下さい。

(様式9)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(科学研究費補助金等の外部資金の受領状況)

氏 名

受領年度（継続の場合は、初めの年度から終わりの年度まで）、研究費名称、補助金を受けた研究の課題名、代表・分担の別、受領金額（直接経費）、科学研究費等、財団等の研究費、企業からの研究費等の3つに分け、それぞれに通し番号を付け、本人の氏名にアンダーラインを付けて下さい。受領年度の新しいものから記載して下さい。

(様式10)

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
(業績等総括票)

氏名

以下の様式で業績等を整理、集計して下さい。

【研究業績】

	著書		総説		原著		症例報告		レター・プロシ ーディング等		商業 誌等 での 発表	特別 講演	シン ポジ ウム	国際 学会
	欧文	和文	欧文	和文	欧文	和文	欧文	和文	欧文	和文				
記入例	0 (0)	1 (1)	1 (1)	5 (2)	55 (30)	15 (7)	5 (2)	6 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1	2	10 (3)

( ) には筆頭者およびCorresponding author (責任著者) としての数を記入して下さい。

h-index	
---------	--

【外部資金等】

	外部資金						特許	
	科研費等 (AMED、 JST含む)		財団等		企業等		登録	出願
	件数	金額 (万円)	件数	金額 (万円)	件数	金額 (万円)		
記入例	6 (3)	3, 405 (2, 100)	2 (1)	610 (100)	2 (1)	225 (100)	0 (0)	2 (1)

( ) は代表としての件数、金額を記入して下さい。特許については ( ) に国際特許の数。  
獲得金額は直接経費のみを記入して下さい。

【歯科医師・専門医資格等、受賞、外国語試験スコア等特記すべき業績】

資格名・受賞名 (学会名等を明示)	(西暦) 年 月 日

(様式 1 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
主要原著論文(10編)に関わる事項

氏 名

主要原著論文番号：
1. 著者名（全員）：
2. 論文題名：被引用回数を末尾に記載（【 回】として）
3. 掲載誌名：インパクトファクターを末尾に記載（【IF: 】として）
4. 論文の要約、特色および意義（400 字以内）：
5. 論文作成における、応募者の具体的役割または担当事項（100 字以内）：

(様式 1 2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学系教授候補者応募調書  
過去 5 年間の症例数

	症例数 (手術難易度区分毎に記載)
口腔外科手術数	
入院症例管理数	

公益社団法人 日本口腔外科学会の手術難易度区分表に従う。